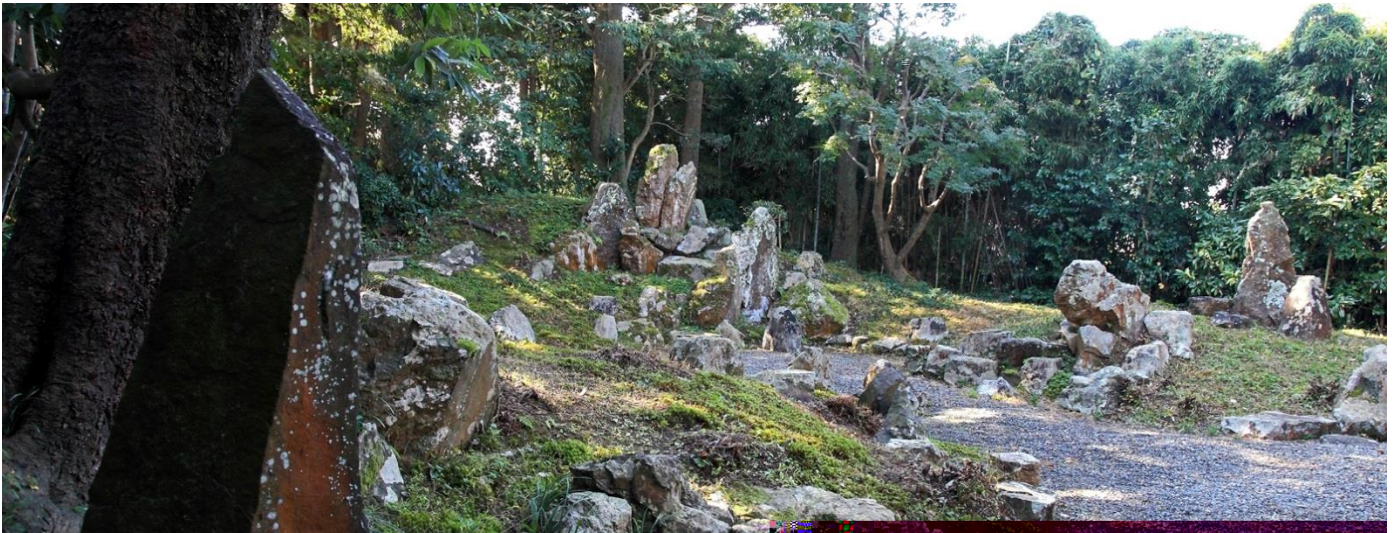
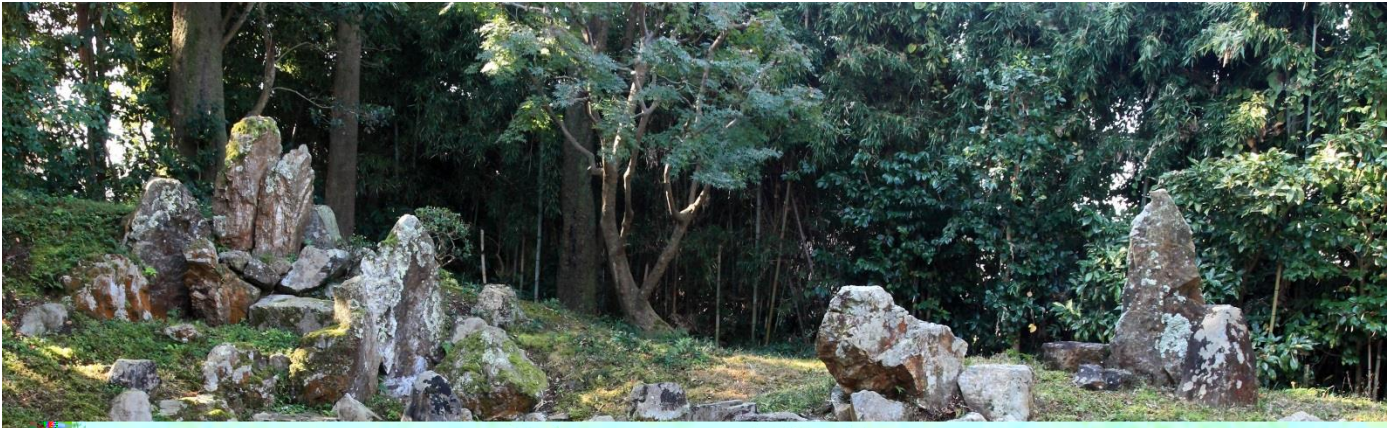
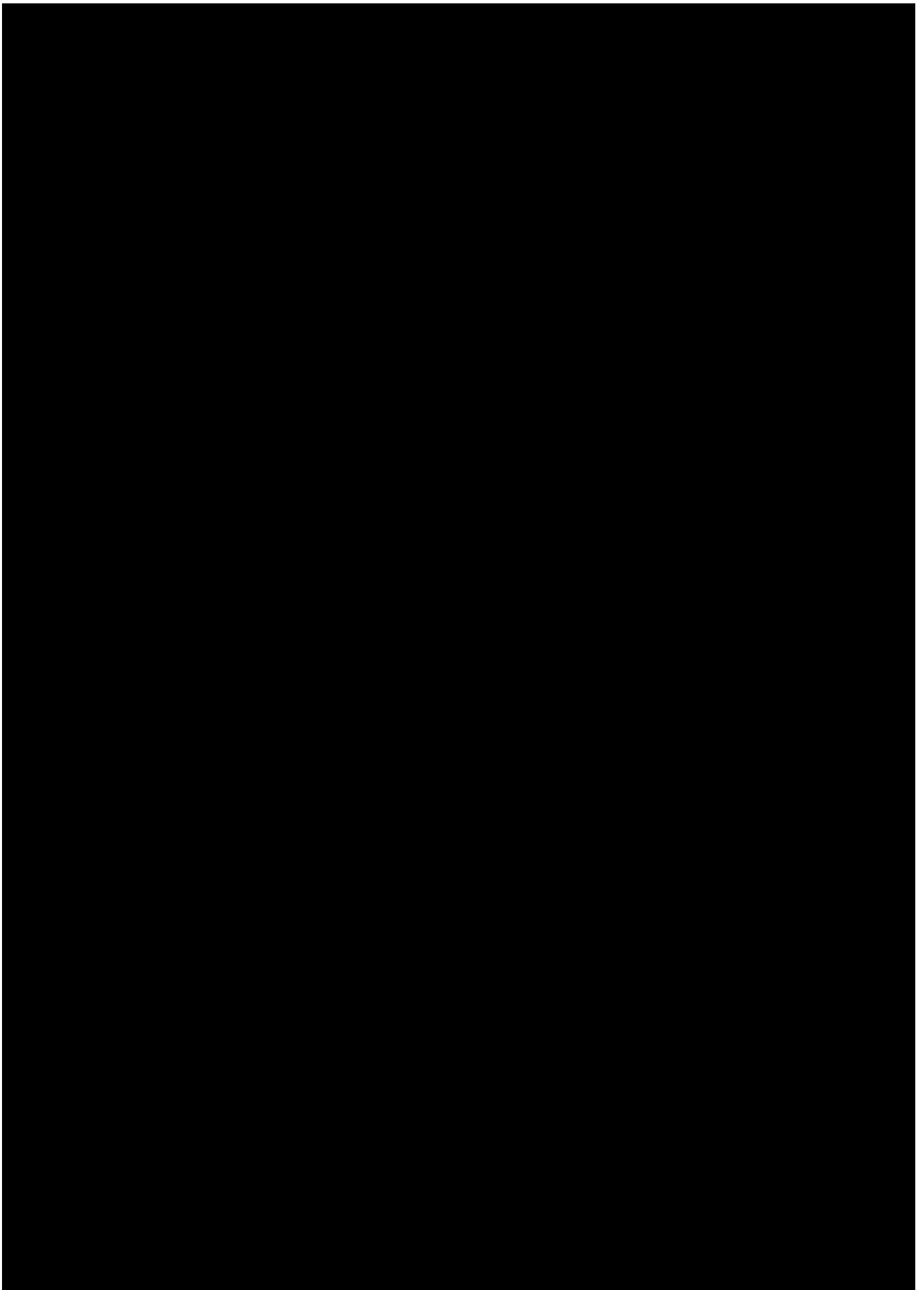






殿の間からの視点で撮影：手前の石は丸くて低く、奥に行くに従って高く、険しい表情の石。また中景は傾斜させて石があるが、水墨画のオーバーハングの巖を象徴している。庭園としては珍しい逆遠近法。